

様式③

令和元年10月4日

現場説明の質問に対する回答書

入札参加者 様

環境創造局下水道設備課長

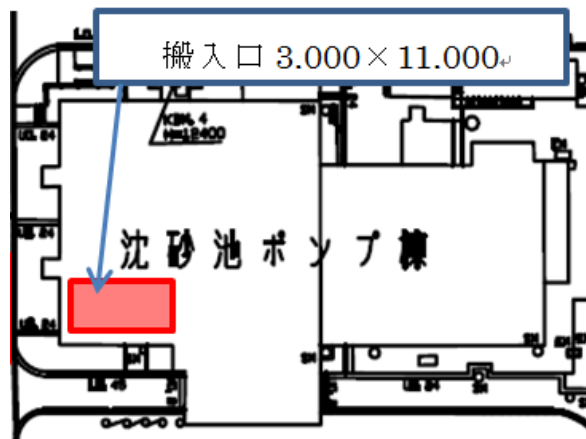
松本 信幸

工事名	西部水再生センター汚水ポンプ（14号機）設備工事				
調達公告日	9月24日	調達公告番号	第130号	契約番号	1921010352

現場説明に対する質問及び回答は次のとおりです。

質問要旨	回答
1. 今年度出来高予定されている機器をご教授願います。	1. 全ての機器が対象です。
2. 吸水槽の水位が MWL 以上となる場合がありますか。ある場合は水位をご教授願います。	2. 汚水流入状況等により MWL 以上になる場合があります。吸込み側水位 HWL -0.550m となります。
3. 吐出水槽水位は、通常時どの程度の水位がありますか。吐出弁交換の際、水槽内に止水壁等を設置する必要がありますか。	3. 吐出水槽水位は通常時水位の変動があり汚水流入状況やポンプ運転状況によります。吐出側の水位条件は HWL+14.341m、LWL+14.061m で計算しております。吐出弁交換の際、水槽内に止水壁等を設置する必要はありません。
4. 既設天井クレーンは荷重試験及び点検等を行わずに、工事に借用できますか。	4. 工事でクレーンを使用する際は、施設管理者に許可を得た上で、請負人にて点検及び安全確認の上使用することにします。
5. 既設天井クレーンの仕様及び使用可能範囲をご教示願います。	5. 既設クレーンの仕様は15t 手動走行クレーンとなります。使用可能範囲は図面 3 / 6 の通りで、横行 7.6m、走行 16.3m となります。
6. No. 14 汚水ポンプの吐出し側の水位及び吸込・吐出し計画水位条件並びに	6. 吐出側 HWL+14.341m

<p>計画実揚程を教授願います。</p>	<p>LWL+14.061m(導水渠底高) 吸込側水位 MWL-0.834m HWL-0.550m 計画実揚程 +15.175m</p>
<p>7. 既設天井クレーンの仕様を御教願います。</p>	<p>7. 質問 5 回答の通りです。</p>
<p>8. ポンプ棟の搬入口の位置及び寸法を御教示願います。</p>	<p>8. ポンプ棟の搬入口は以下に示す図面の通りです。搬入口寸法は特記仕様書記載の通りです。</p>
<p>9. No14 汚水ポンプの電動蝶形弁の取替がありますが、吐出水槽の水位は下げられるものと考えますが宜しいでしょうか。またその際に下げることが可能な水位についても御教示願います。</p>	<p>9. 吐出水槽の水位を一時的に吐出管貫通部底部以下まで下げることが可能です。詳細は契約後協議の上決定します。</p>
<p>10. 上記の作業の際の作業時間の制約等について御教示願います。(夜間作業や時間制約など)</p>	<p>10. 晴天時の夜間、早朝など流入の少ない時間帯に施工することとします。詳細は契約後協議の上決定します。</p>
<p>11. 水中汚水ポンプを設置する人孔の位置を御教示願います。</p>	<p>11. 図面 1 / 6 雨水ポンプ施設東側着色部です。</p>



<p>12. 人孔の中への機器の搬入方法の考えを御教示願います。</p>	<p>12. 人孔蓋を開け上部より搬入します。</p>
<p>13. 人孔の中の換気設備は設置されており、工事の際に使用できるものと考えますが、宜しいでしょうか。</p>	<p>13. 換気設備は設置されておりません。施工の際は安全確認の上、請負人にて入孔に必要なものは準備することとします。</p>
<p>14. 水中汚水ポンプを施工の際、人孔内には水が無く排水等は必要ないと考えますが、宜しいでしょうか。</p>	<p>14. 排水の必要はないと想定していますが、天候等により湧水等の流入が考えられます。詳細は契約後協議の上決定します。</p>
<p>15. 水位条件をご教示ください。(吸込および吐出側)</p>	<p>15. 質問 6 回答の通りです。</p>
<p>16. 計画実揚程をご教示ください。</p>	<p>16. 質問 6 回答の通りです。</p>
<p>17. 吐出弁について更新作業時の吐出井の排水方法をご教示ください。</p>	<p>17. 吐出井の汚水は分水槽バイパスゲートより流入渠へ排水可能です。詳細は契約後協議の上決定します。</p>